

令和 7 年度の地域包括ケア計画記載事業の実施について

地域包括ケア計画（令和 6 年 3 月策定、計画期間：令和 6 年度～令和 8 年度）にて計画している事業について、主に財政的な理由によって事業の廃止・変更が必要となったもの。

No.	対象事業	地域包括ケア計画	現在の事業内容	令和 7 年度以降	影響・今後の対応等
1	ふれあいデイサービスセンターの管理運営	基本目標 2 (4) 生きがいつくりと社会参加の推進計画 P80	身体的に自立している方を対象に、送迎付きで介護予防を目的としたデイサービスを行う。（額田圏域・檜山町）	令和 7 年度末をもって施設を廃止	利用者（約50名）、関係者に対し説明・周知
2	敬老祝金の支給	基本目標 2 (4) 生きがいつくりと社会参加の推進計画 P81	長寿をお祝いするため87歳、99歳以上の方に 1 万円を贈呈する。	対象者の見直し 87歳への敬老祝金の贈呈をやめ、対象を99歳以上の方とする。	広報紙・HPによる広報 民生委員への周知
3	高齢者生きがいセンターの管理運営	基本目標 2 (4) 生きがいつくりと社会参加の推進計画 P82	就労を通じた社会参加と生きがいつくりを行う。（岩津圏域・恵田町）	令和 7 年度末をもって施設を廃止	利用者（約110名）、関係者に対し説明・周知
4	位置情報検索サービス導入費助成事業	基本目標 3 (4) 認知症バリアフリーの推進計画 P87	GPS等小型機器を認知症高齢者が携帯することで、その位置を検索できる民間サービスの導入費を助成する。	廃止	各関係者に対し説明・周知
5	見守り配食サービス	基本目標 4 (1) 在宅生活を支える支援の充実計画 P88	一定の要件を満たす高齢者に対して、弁当配達の際に見守り体制の一つとして安否確認を行う。	対象者の見直し 75歳以上ひとり暮らし高齢者で、非課税の方とする。	利用者（約950名）、関係者に対し説明・周知
6	在宅ねたきり高齢者等見舞金の支給	基本目標 4 (2) 家族介護支援の充実計画 P90	65歳以上で一定の要件に該当し、在宅介護を受けている人に対し、市から見舞金を支給する。	廃止	利用者（約400名）、関係者に対し説明・周知
7	在宅ねたきり高齢者布団乾燥等業務	基本目標 4 (2) 家族介護支援の充実計画 P90	65歳以上で一定の要件に該当し、在宅介護を受けている人に対し、布団等の丸洗い、乾燥、殺菌、脱臭など寝具類の衛生管理を行う。	廃止	利用者（約70名）、関係者に対し説明・周知
8	在宅ねたきり高齢者への寝具貸与	基本目標 4 (2) 家族介護支援の充実計画 P90	65歳以上で一定の要件に該当し、在宅介護を受けている人に対し、寝具を貸与し、寝具の衛生管理を行う。	廃止	利用者（約15名）、関係者に対し説明・周知
9	住宅改修費用助成金の支給	基本目標 4 (3) 住まいの充実計画 P91	要介護認定者等の住宅改修について、介護保険事業とは別に改修費の一部を助成（限度額20万円）する。	廃止	関係者に対し説明・周知

※これらに係る予算案や条例案は、令和 7 年 3 月岡崎市議会定例会にて審議され最終的な決定となります。

第10期地域包括ケア計画に係る介護保険等実態調査について

1 目的

令和9年度を初年度とする第10期の「岡崎市地域包括ケア計画」の策定に向け、本市に居住する高齢者、在宅介護サービス利用者、介護サービス事業者等の実態やニーズ、またその変化を把握し、高齢者福祉及び介護保険サービスの在り方を検討するための基礎資料として活用する。

2 予定スケジュール

令和7年4月	介護保険等実態調査支援事業者の選定・契約
～9月	調査対象者・アンケート項目・調査方法の検討・確定
令和7年10月	関係各所調査協力依頼
<u>令和7年11月</u>	<u>介護保険等実態調査実施</u>
令和8年2月	介護保険等実態調査結果のとりまとめ

※ 調査内容等については高齢者福祉専門分科会に諮り、御意見を伺います。

3 第9期における調査内容

調査種別	調査対象	有効回収率
一般高齢者	要介護認定を受けていない65歳以上の市民（要支援・事業対象者を含む。）から3,600人を無作為抽出	74.6%
若年者	要介護等の認定を受けていない55歳～64歳の市民から1,000人を無作為抽出	54.1%
在宅サービス利用者	要介護等の認定を受けた市民のうち、更新申請・区分変更申請に伴い認定調査を受けて在宅介護サービスを利用している市民から1,500人を無作為抽出	56.3%
施設入所者	要介護等の認定を受けた市民のうち、介護保険施設等に入所又は入居している市民から1,500人を無作為抽出	46.9%
居宅介護支援事業者	本市でサービスを提供する居宅介護支援事業者98件（全数）	83.7%

調査種別	調査対象	有効回収率
在宅介護サービス事業者	本市でサービスを提供する在宅介護サービス事業者299件（全数）	76.3%
入所施設事業者	本市でサービスを提供する入所施設事業者106件（全数）	71.7%
介護支援専門員	介護支援事業者調査の対象となった事業所に勤務する介護支援専門員（1事業所2名まで）	78.8%

※調査方法は全て、郵送配付・郵送回収

4 第10期における調査予定内容

(1) 調査種別について

施設入所者への調査については行わず、それ以外は前回調査と同対象に同規模で実施する予定。なお、施設入所者への調査を行わない理由は、過去の調査結果から経年の変化があまり見られないこと、調査結果を施策へ反映する余地があまりないこと、郵送費・人件費等の高騰による影響等を総合的に判断したため。

(2) 回答方法について

前回調査は郵送回答のみであったが、回答者の負担の軽減が図れるもの、返信率の向上が見込まれるもの、返信費用の削減が見込まれるものについては、インターネットによる回答の導入について検討する。

(3) その他

質問内容、質問数については回答者の負担を考慮して検討する。特に高齢者に対する調査については必要性を十分に検討する。

第9期施設整備計画の進捗状況

(資料: 第9期地域包括ケア計画から抜粋)

(10) 施設等整備計画

施策の概要

- ・ 2024年度、認知症高齢者グループホームⅠ施設を上地6丁目に建設中。
- ・ 予定どおり整備が進んでおり、2025年度開所予定。

◇第9期計画期間における施設等の整備については、本市における将来的な利用見込みや市内の他の施設等とのバランス、事業者の参入意欲等も考慮し、2024年度から2026年度までの計画として、次のとおりの整備を進め、適切な施設等のサービスの提供に努めます。

■ 第9期計画期間における施設等整備計画

(単位: 床数)

区分	第9期施設等整備計画								第9期計画計	第8期終了時整備済床数 (見込む。)
	本庁	岡崎	大平	東部	額田	岩津	矢作	六ツ美		
介護老人福祉施設	2025年度(26) 短期入所生活介護の居室(多床室及び従来型個室)からの転換								26	720
介護老人保健施設	計画なし								0	806
介護療養型医療施設	計画なし								0	0
介護医療院	計画なし								0	107
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	2025年度(29) 圏域なし(ただし地域性などを評価の上選定)								1施設 29	454
認知症対応型共同生活介護	2025年度(18)、2026年度(18) 圏域なし(ただし地域性などを評価の上選定)								2施設 36	468
特定施設入居者生活介護	計画なし								0	482
地域密着型特定施設入居者生活介護	計画なし								0	108
第9期計画	(第9期の整備予定床数合計)								91	-
第8期実績 (見込む。)	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護: 29(大平) 認知症対応型共同生活介護: 36(岡崎 18、六ツ美 18)								-	-
第8期終了時 整備済床数 (見込む。)	842	453	513	406	152	382	248	159	-	3,155

- ・ 2025年度に整備する予定の地域密着型特別養護老人ホームⅠ施設と認知症高齢者グループホームⅠ施設の公募を実施したが、応募はなかった。
- ・ 2026年度に整備する予定の認知症高齢者グループホームⅠ施設の公募を行う際(2025年度)に、再公募を行い、計画どおりの整備を進める予定。